

世界自然遺産「知床」

らうす 餐莊

羅臼を訪れる度＝旅

人のあたたかさに触れる”幸福”
訪れるたびに会う新しい”情景”
季節が移ろう毎に魅せる山海の”生气”

廃業した宿の”廃墟”が映る
「なにか我々に出来る事はないでしょうか？」
羅臼町の”未来”を映し、勇気を出して申し出た。

世界自然遺産「知床」の地内
関係する全ての皆様方にご協力を賜りつつ、解体事業に着手

宿を創るとゆう事

人の営みを整える
衣・食・住を御提供する
生産者や製造者・地域の皆様方と繋がる

羅臼を訪れる旅人たちに皆様方の”想い”が伝わる

そんな宿を創りたい。

所有 / 企画

T a M a - T e c 株式会社

代表取締役

玉川 裕一 / Yuichi Tamagawa

(株)玉川商事 (北海道恵庭市) 代表取締役

総合建設業の(株)玉川組 (北海道恵庭市) を傘下に持ち、
不動産管理・経営管理受託事業を展開。

杉山 博康 / Hiroyasu Sugiyama

(株)マテック (北海道帯広市) 代表取締役

資源リサイクル、産業廃棄物処理、アップサイクル製品開発 等
総合リサイクル業を展開。

建築

株式会社 遠藤建築アトリエ

代表取締役

遠藤 謙一良 / Kenichiro Endo

一級建築士設計事務所北海道知事登録 4584 番 (北海道札幌市)

ZEB プランナー ZEB2020P-00068-P

公益社団法人 日本建築家協会北海道支部 顧問 (2020年～)

設計監理事例

洞爺湖 鶴雅リゾート洗の舘 (北海道) / 越前あわら温泉 つるや (福井県)

HAKUBA MOUNTAIN HARBOR (長野県)

北海道立北の森づくり専門学院 (北海道)

運営

株式会社 REVITALIZERS

代表取締役

小田 與之彦 / Yoshihiko Oda

観光・宿泊業における改革支援事業を展開。

“おもてなし”で高付加価値化を実現し、地域経済と未来を作る。

(株)つるや (福井県あわら市) 代表取締役社長

(株)加賀屋 (石川県七尾市) 代表取締役社長 (2014年4月～22年10月)

社団法人日本青年会議所 第57代会頭 (2008年)

-じぶん-

羅臼の山海に等身大を映し

日常から“日情”へ紡ぐ宿

つむぐ

助け合い

人生をかたちづくる

つながる 心をかよわせる

受け継ぐ つくりあげる

Key words

人間の心のはたらき

ほんとうのありさま

まごころ おもむき

華美ではない上質

自分と向き合う 背伸びしない

見えないモノ・コトに寄り添う

立ち還る 気付く 原点回帰

おもてなし

いち・はじめ・ひとつ
心地よさ あたたかみ
特別感 一客一名
また会いたい きっかけ
一瞬 かけがえのない
印象の積みかさね



Key words

お料理

出来立て 芳ばしい

創り手との対話

選択の自由 ひとくち

ならでは 出会う

絶妙

architecture

建物

らうす餐莊

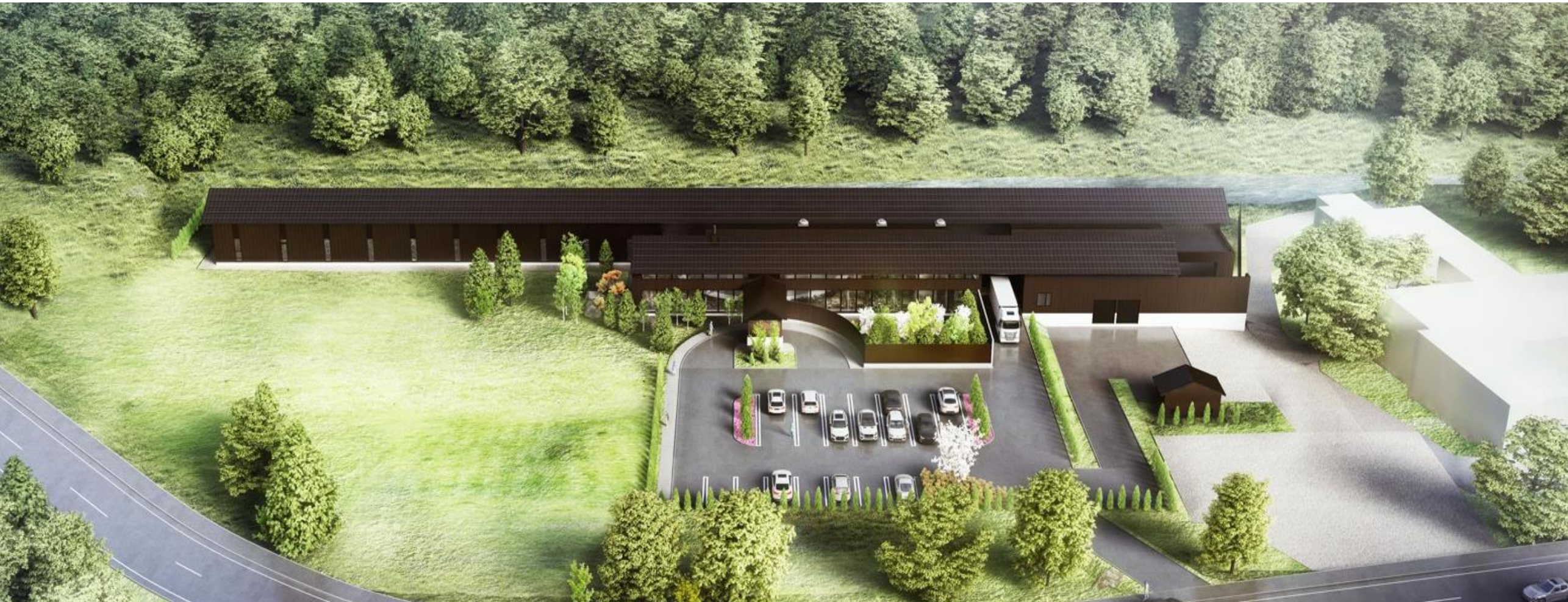
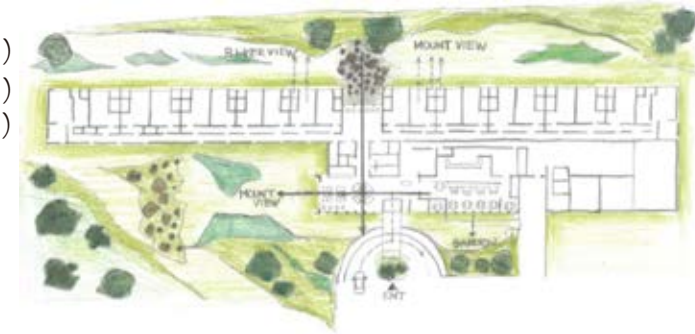
知床は山岳地帯から海岸線に広がる豊かな生態系が評価され2005年に世界自然遺産に登録されました。絶滅危惧種のヒグマ、オオワシ、シヤチなどが生息し冬季には流水が見られるなど独特の自然環境を有しています。らうす餐莊は知床羅臼の世界自然遺産内に位置し、土地の豊かな自然に融合し、四季の恵みをゆっくりとした時の中で五感で愉しむ宿です。

地域の豊かな四季の恵みを自然と一体となって深く体感し味わう日本旅館の高い質を目指し、木造建築として地域材を素材として用い、深い緑から紅葉、そして真っ白な冬の世界へと変わる圧倒的な自然の光景と融合する唯一の時間・空間を味わえます。建築は温泉熱のエネルギーを使い世界自然遺産にふさわしい持続可能な施設とし、羅臼の街の新たな魅力の創出を目指します。

ホテル延床面積	2344.03 m ²	(709.24 坪)
ホテル建築面積	2389.18 m ²	(722.89 坪)
敷地面積	16060.54 m ²	(4,858.31 坪)

客室

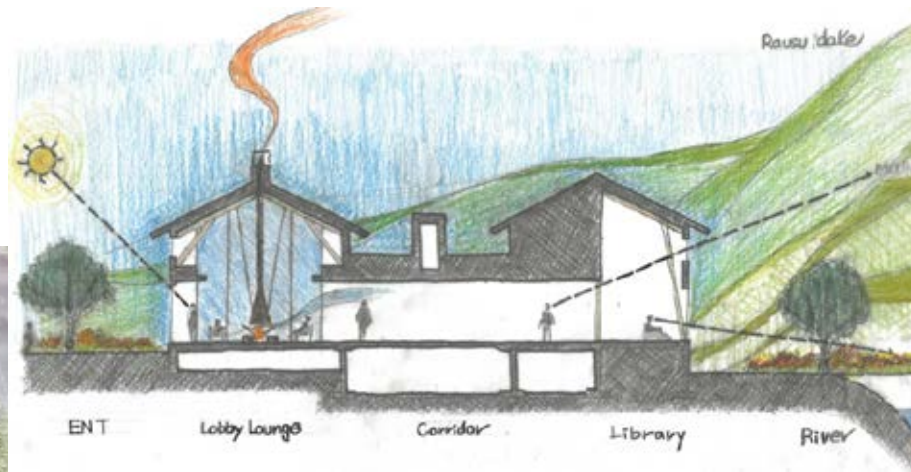
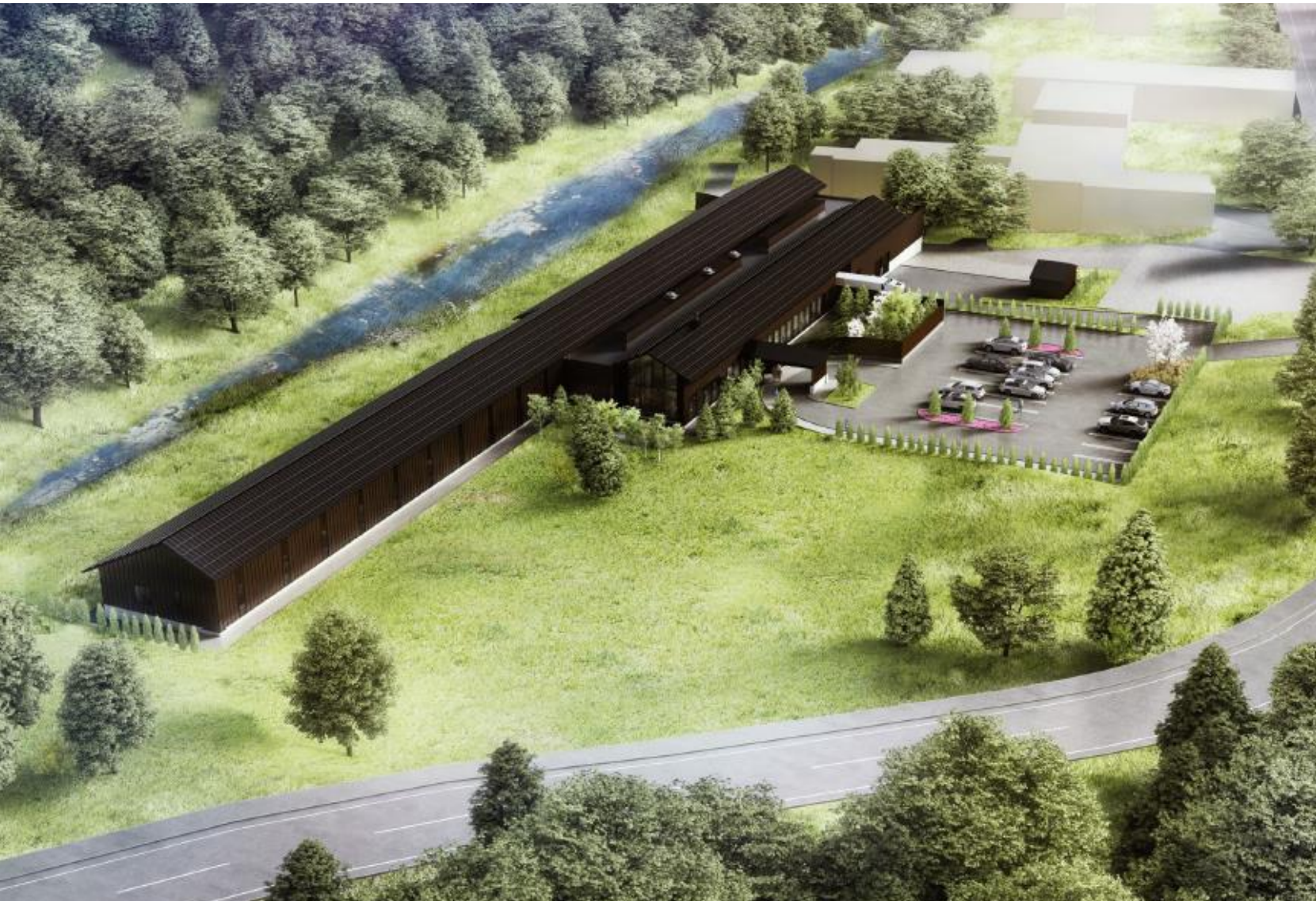
スタンダードルーム	(46.2 m ²)	10 室
デラックス	ルーム (53.2 m ²)	8 室
スイート	ルーム (86.6 m ²)	2 室
合計		20 室



環境にやさしい建築

らうす餐荘は、自然環境を尊重し、地域に融合した環境に十分配慮した施設を目指します。建築は北海道産材による木造平屋とし、外装は、こげ茶色の配色で自然環境に融合し、また深い存在感がある仕上とします。宿は環境に配慮した ZEBReady を取得し、羅臼の温泉熱を利用することで省エネルギーでサステナブルな建築です。

地域の温泉熱利用により暖房や給湯などに利用し、化石燃料を減少させ温室効果ガスの排出を大幅に削減します。SDGs にも寄与し、エネルギー効率の向上 (SDG7)、気候変動対策 (SDG13)、陸の生態系保護 (SDG15) 等により知床の自然環境を尊重し、融合する宿です。



自然と融合するシンプルモダンラグジュアリーな宿

らうす餐荘は、世界自然遺産の自然を存分に堪能する、豊かな自然との融合を大切に創られています。

宿の構造は木造(北海道産材)平屋建てでロビー棟と宿泊棟の2棟が並列する構成で世界自然遺産の中にあるべき環境を配置し自然をリスペクトした未来へサステナブルにつながる環境=シンプルモダンラグジュアリーの新しい宿を目指します。

ロビー棟は羅臼岳方向に視線が大きく開放され、木造の構造仕上に包まれた、たき火をたのしむ暖炉スペースを中心にバーラウンジ・レストランと温かで一体感のある屋根に包まれた心和む空間です。宿泊棟は、中心にライブラリースペースを有し、北面の山と羅臼川の景観を望む構成で、時間の移ろいと豊かな自然の光景を大きな開口部から味わう、自然と融合する空間です。





和と洋の心地良さ

宿泊棟はライブラリーラウンジを中心に全面にひろがる山と羅臼川の豊かでダイナミックに移ろう景観と一体となる構成です。室内からは豊かな自然を終日心地よく体感する仕様となっています。

畳を基本に低めの視線から大きな開口部を通して光景を望み、温泉からも同様な広がりを楽しめます。身体の真のリラクゼーションをテーマに洋のソファ・ベッドをしつらえ、静謐な和の空間性を基調としたシンプルモダンラグジュアリーの空間です。客室はスタンダードルーム(46.2㎡)10室、デラックスルーム(53.2㎡)8室、スイートルーム(86.6㎡)2室の合計20室として、全室ビューバス(温泉)を完備し、スイートルームはサウナ、水風呂、外気テラスを備えております。